

## はじめに



グローバル化、少子高齢化、価値観の多様化の進展等の社会の変化に加え、長引く経済の低迷に伴い、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、今日のわが国の教育現場は、子どもの学ぶ意欲や体力の低下、不登校あるいは発達障害などの増加、地域との関係の希薄化や家庭の学校依存の進行など、様々な課題を抱えています。

また、平成23年に発生した東日本大震災は、すべての面で「今」を問い直す機会となりました。被災地の厳しい状況の中にあっても前向きに、そしてひたむきに生きようとする人々の姿に、「生きる力」や「地域の絆」、そして日本人が本来持つ「規範意識」の大切さを改めて考えるようになりました。

本市は今、教育を重点政策とし、「教育日本一」を目標に掲げて教育環境の充実に取り組んでいます。

藤枝の学校教育には「授業で人を育てる」という脈々と受け継がれてきた授業研究の伝統があります。この財産を大切にしながらも、様々な教育課題に対応し、未来に繋げるため、教育を単に学校任せにするのではなく、市民総がかりで取り組む体制づくりを進め、藤枝ならではの豊かで質の高い中長期的な施策を実現する、独自の教育振興基本計画を策定しました。

この計画策定にあたっては、市民、有識者からなる「子ども未来応援会議」を設置して、教育に係る様々な内容を検証・討議していただき「学びの環境モデルふじえだ」という本市の目指す教育の姿を提言していただきました。

本計画を実行することにより、子どもたちに夢や希望を与え、子どもたちを支える地域や学校がそれぞれ成長を続けていけるものと確信します。

私は藤枝から、日本の将来を担う多くの人財を育て、藤枝で育って良かった、藤枝育ちは自らの誇りだと言われるような教育を進めたい、そのためにも全市をあげてこの計画を推進していく決意です。

本計画の策定にあたり、御尽力いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げますとともに、市民の皆様には自らの社会の未来を創るとの思いで、本市の教育施策にご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成 25 年 3 月

藤枝市長 北村 正平